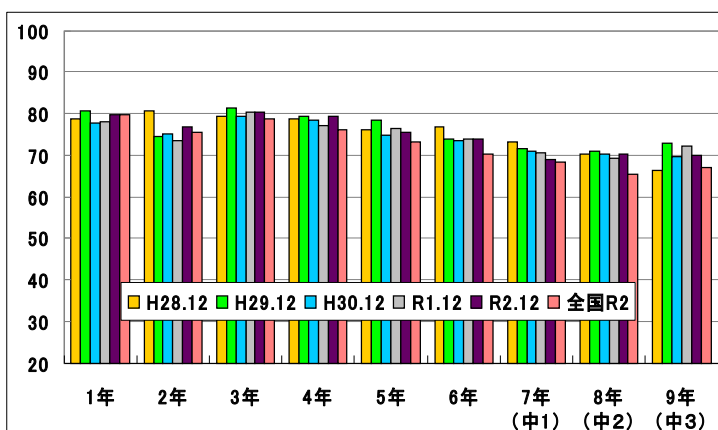


- 調査は令和2年7月と12月の2回実施し、箕面市の肯定率を全国と比較
- 回答は、「そう思う」「少しそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つから選択
- 肯定率とは、選択肢の「そう思う」と「少しそう思う」の割合を単純に合計した値

### 【自己認識】 箕面っ子の自己肯定感は…

#### 家族とのかかわり

◆本当につらいことがあったとき、それを家の人のだれかに相談できますか。

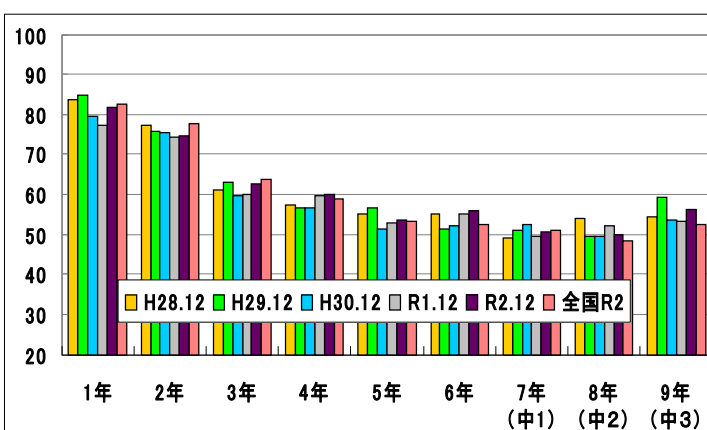


安心して相談するでござる！



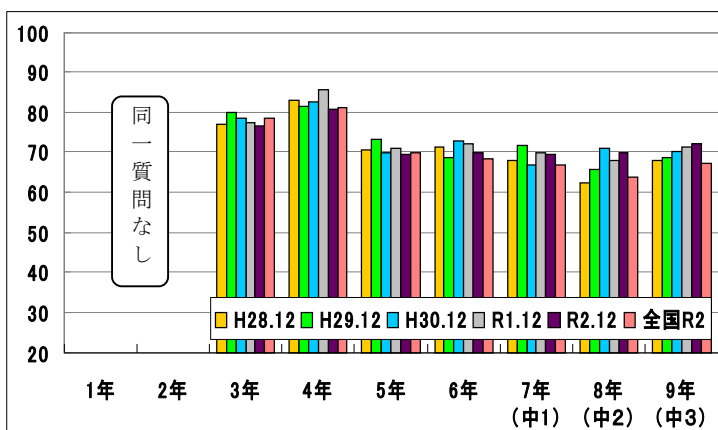
#### 先生とのかかわり

◆本当につらいことがあったとき、それを学校の先生に相談できますか。

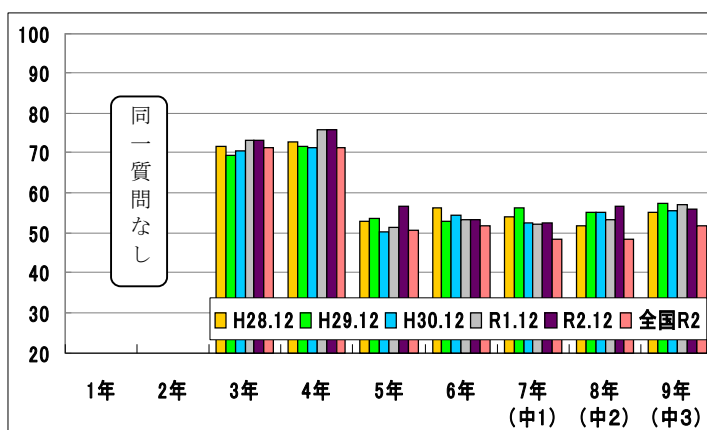


#### 成功体験と自信

◆自分にはいいところがあると思いますか。



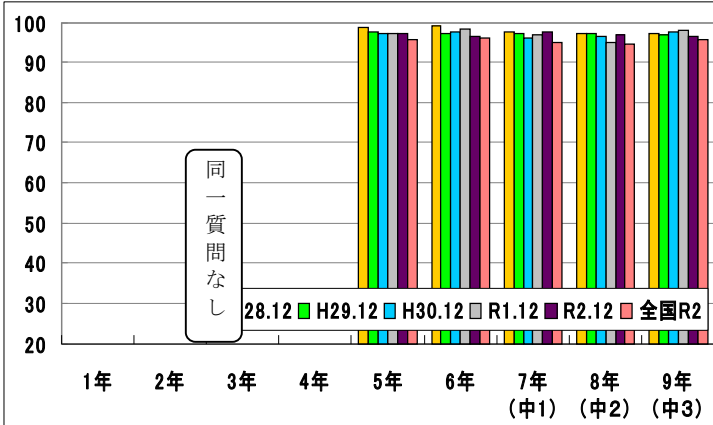
◆学校の授業やクラスの役割などで、自分は先生から期待されているんだな、友だちからたよりにされているんだな、と感じることがありますか。



「家族や先生に相談できる」という割合は、多くの学年が昨年度の肯定率より高くなっています。「先生に相談できる」と回答した割合は、小学校3年頃から下がっていく傾向は依然としてみられますが、昨年度の肯定率と比べて大幅に高く推移しています。また、「自分にはいいところがある」「期待されている、頼りにされている」と思っている子どもは、小学校5年になると肯定率が下がる傾向がみられますが、全国平均値と比べると高く、特に中学生では、高く推移していることが分かります。

## 【対人ストレス】 いじめのサインは…

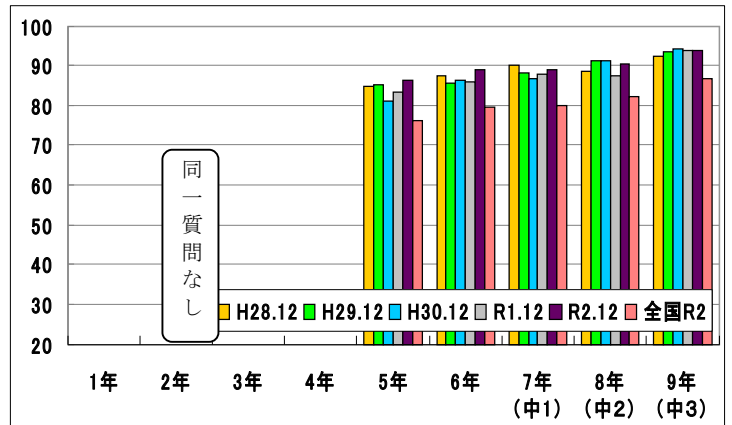
- ◆LINE やツイッター上で仲間はずれにされたり、ひどいことを書かれたりして、傷ついたことがありますか。  
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



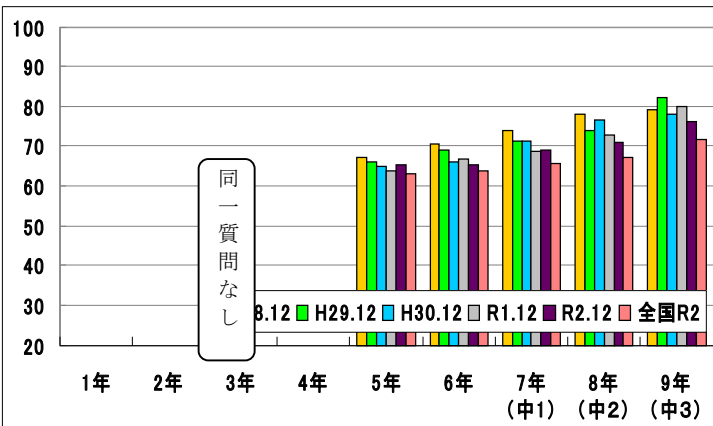
このグラフは、ポイントが高いほど良好なのでござる！



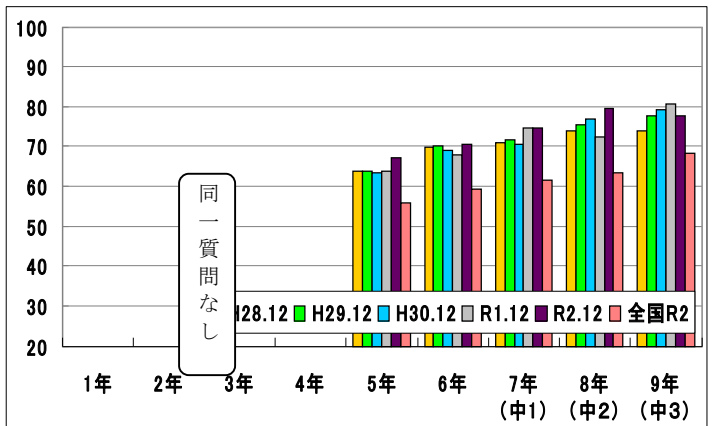
- ◆自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることがありますか。  
⇒「一度もない・前はあった」と回答した割合



- ◆仲のいい友だちから、自分がどう思われているか、つい気になってしまうことがありますか。  
⇒「気になることはない・たまにある」と回答した割合



- ◆信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。  
⇒「一度もない・けんかはしても傷つくことはない」と回答した割合



「対人ストレス」を感じていない子どもの割合は、例年、全国平均値より高い結果がでています。特に、「自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることがありますか」という質問では、全国と比べて、不安に感じている割合が少なく、昨年度の肯定率よりも高く推移しています。

しかし、「信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか」という質問においては、全国平均値と比べ高く推移していますが、2～3割の児童生徒が傷ついたことがあると回答していることがわかります。

こうしたデータを踏まえ、各学校においては、学級・学年における人間関係づくり、いじめやネットトラブルの未然防止の授業、情報モラルに関する学習等の取り組みを引き続き行っていきます。それとともに、周りの大人も、子どもたちからのサインを見逃さないよう、しっかりと見守っていく必要があります。

スマートフォンやタブレットの使い方について、お家の人とルールを決めよう！！

